

事業報告書（学術局 専門領域部 神経系理学療法専門部会）

事業名称	令和7年度 神経系理学療法専門部会 第1回症例検討会	開催日	令和7年5月15日（木）
開催場所	オンライン（Zoom Meetings）	開催時間	18：00～21：00
参加者	理学療法士会員：29名（症例検討①）、28名（症例検討②）		

【活動内容】

オンライン（Zoom Meetings）で神経系理学療法の分野における症例検討会を行いました。

症例検討①では、「右視床出血により、左重度片麻痺・感覚障害により自宅退院に向けて難渋した症例」、症例検討②では、「左被殻・視床出血により意識障害を呈した症例における評価と治療」というタイトルで、それぞれ症例紹介をしていただきました。症例発表後に質疑応答、グループディスカッションを行いました。症例検討①では、重度の麻痺と感覚障害、注意障害があるが、普通に歩きたいというhopeを持つ回復期患者に対しての評価・治療を検討し、自宅退院に向けてできることなどの意見を多く聞くことができました。症例検討②では、主に意識障害に焦点を当てて、評価や治療について意見を交換しました。多くの参加者から、意識レベルを改善するために普段どのような工夫をしているか聞くことができました。

ディスカッションは、様々な所属の参加者がそれぞれの見方で意見を述べ合うことができている、視点が広がったのではないかと思います。発表者にとっても、ディスカッションを通して多くのフィードバックが得られたのではないかと思います。

今後も県内理学療法士のリハビリテーションの質の向上をサポートできるような場を設けていければと思っています。

【活動風景】



症例検討① 浅沼 那月 先生
（沼津リハビリテーション病院）

症例検討② 山口 竜雅 先生
（熱海所記念病院）